

海老名市立杉久保小学校 学校運営協議会 議事録
(令和4年5月28日 第2回)

- 1 日時 令和4年5月28日(土) 10:00～
- 2 場所 海老名市立杉久保小学校
- 3 出席委員 金子由美子委員、前田正晴委員、岩崎佐容子委員、山室修次委員
鈴木 剛委員、山口光康委員
山川 勇校長、塩原貴明教頭、田村哲哉総括教諭

4 会議の内容

(1) 学校長より

山川校長:杉の子運動会の参観並びに学校運営協議会に出席いただき感謝申し上げます。感染症対策を徹底した中での実施となりましたが、教職員が知恵を出し合い、工夫して運動会を実施することができ、ひと安心しているところです。また、運動会の実施にあたり、ご協力いただいているPTAの皆様や学校応援団の皆様、地域の皆様に感謝申し上げます。子どもたちの笑顔や自信に満ちあふれた表情が随所に見られ、行事の大切さを再確認したところです。本日も、よろしく願いいたします。

(2) 第44回 杉の子運動会の感想

金子委員:規模を縮小し、内容を工夫しての開催、大変だったと思います。縮小開催も3年目となり、子どもたちの体力低下が心配です。2部に分かれての運動会でしたが、全員がそろそろ楽しさ等も体験できるといいなと思います。

山室委員:変則パターンながら、子どもたちは、暑さの中「元気に、心を一つに」実施できました。新型コロナウイルス感染症が影響して、マスク生活、ソーシャルディスタンス、給食対応など、コミュニケーション能力向上へのマイナス要因克服の行事になってくれればと思います。

前田委員:コロナ禍を乗り越えて、子どもたちに笑顔が戻ったように感じました。入念な準備をされた学校・PTAの皆様には深く感謝を申し上げます。参観していて、こちらもとても楽しかったです。ありがとうございました。

岩崎委員:天候に恵まれ、元気な子どもたちの姿を見られて大変嬉しく思いました。入学して2か月しか経っていない1年生が、立派に開会式であいさつする姿を見て、成長を感じました。

鈴木委員：マスクをしながらの競技は、熱中症にならないのか不安でしたが、風が吹いていたので良かったです。前日の雨でグラウンド状況が心配でしたが、コンディションが良く安心しました。

山口委員：6年生の演技（大縄跳び・ソーラン節）を見て、最後の運動会ということもあり、一生懸命に演技する姿に感動しました。その他の学年の演技も、笑顔があふれ、楽しんでいるようで良かったです。

（3） 子どもたちの地域での様子や気になること等について

岩崎委員：外遊びをしている時に、マスクを外しても良いと声をかけても、外す子が少なく、外すことがいけないというイメージがあるようです。会話をせず距離が保てれば、外しても良いことを地域の人にも伝え、見守り続けていこうと思います。

山川校長：マスクの着用については、学校でも指導をしているところです。また、市教育委員会より、保護者宛文書や地域住民に向けて教育省メッセージが出されています。

前田委員：昨年、青健連では、地域で子ども向けイベントを実施しました。子どもたちは、友だち同士で約束するなど、とても楽しみにしていました。コロナ禍で、子どもたちが楽しむ場が少なくなっていると感じました。青健連としても、何かできないか思案中です。

山室委員：家庭を取り巻く環境の変化から、学童クラブの関与が多くなっています。放課後の子どもたちの過ごし方も、家庭やあそびっ子クラブ、学びっ子クラブで成長を見守る機会が減少しています。このような状況だからこそ、学校と地域が共に協力しながら、考え、学ぶ子どもを育成していくことが求められると思います。

金子委員：毎朝、登校中の子どもたちを見送っています。登校班による登校については、賛否両論あると思いますが、異学年との交流には適していると思います。このような経験の中から、友だちの良さや自分のできること等に気づき、自分で考えて行動できる子に育てて欲しいと願っています。

塩原教頭：本日は、お忙しい中ご来校いただき、ありがとうございます。皆さまからいただいたご意見を参考に、今後の教育活動に活かしていきたいと思っています。今後とも、よろしく願いいたします。

（4） その他

次回の日時・内容について

- ・11月下旬を予定
- ・特色ある学校づくり等について